

(株)東芝「企業の森づくり活動」を終えて

—4ヘクタール、広葉樹8,000本を植栽—

1 はじめに

(株)東芝(東京都港区)は、平成37年に創業150周年を迎えることから、CSR(企業の社会的責任)活動の一環として、「東芝150万本の森づくり」に取り組んでおり、平成21年9月11日に東芝・北上市・県の三者による「企業の森づくり」活動に関する5年間の協定を締結しました。

2 計画

計画では、北上市和賀町山口地内の市有地に広葉樹4.5㌔の植林と下刈13.5㌔の実施が計画され、植林の半分は植林体験会で、残りの植林と下刈は、北上市が東芝から資金提供(森林整備事業の自己負担分)を受け実施することとなりました。

3 植林体験会

植林体験会は、平成23年度は東日本大震災、平成25年度は台風の影響で中止となりましたが、これまでに平成21・22・24年度の3回開催され、岩手東芝エレクトロニクス(株)社員や

家族など延べ500人超が参加し、面積1.5㌔にブナなど広葉樹3,000本を植栽しました。

なお、植林体験会が中止となった平成23・25年度は、東芝から資金提供を受け、同市が森林造成を行っています。

4 おわりに

これまでの5年間で、植林体験会を含め8,000本の広葉樹が植栽され、4.0haの「企業の森」が造成されるとともに、森林整備に対する理解醸成を図ることができました。

活動を実施した東芝及びフィールドを提供した北上市に改めて敬意と感謝を申し上げますとともに、これを契機に森林整備の輪が広がっていくことを期待しています。

